特集 平成28年度 海外派遣事業報告

本村の中学生35名が、8月17日（水）から23日（火）の5泊7日で、姉妹都市であるアメリカ合衆国カリフォルニア州リオビスタ市等を訪れ、交流会やホームステイのほか様々な研修を通して貴重な体験をし、派遣団一人ひとりが親善大使としての役割をしっかり果たしてきてくれました。

リオビスタ市では、ノーマン市長を始め、多くの方々に歓迎していただきました。
また、今回リオビスタ市を訪問した２０１６年８月１９日を「飛島村の日」と定め、派遣団員をリオビスタ名誉市民に認定していただきました。

リバービュースクールではバディに学校案内をしてもらったり、一緒にランチを食べたりして交友を深めました。
交流会では、お互いゲームに積極的に参加し、大盛り上がりでした。

団員たちの顔からは、今回のホームステイが非常に充実したものだったことがうかがえます。
2泊3日のホームステイで、どのような楽しい思い出を作ったのでしょうか。

ホストファミリーの皆さんと記念撮影

来年も、リオビスタ市姉妹都市交流団の来村が予定されています。ホームステイの受け入れをしていただける方の登録等を随時受け付けていますので、お気軽に中央公民館内生涯教育課までお尋ねください。

ボーイング社エバレット工場にて、飛行機の製造工程を見学。
普段は見ることができない飛行機の組み立て現場に団員たちも興味津々でした。
三菱重工から出向している梶原様、黒崎様の両名には、お忙しい中でも丁寧にこちらからの質問に答えていただきました。

日米の農業を比較するために、スパングラー農場の見学を行いました。
地平線の彼方まで続く農場の広さに一同驚愕。
また、広大な農地であるため使用する農機も大きく、肥料や種まきをプロペラ機で行うなど、農業のやり方のスケールの違いを身をもって実感しました。

サクラメント愛知県人会の方々との会食。
海部地域からも多くの方が移民としてアメリカに渡っており、深い関係を持っています。
団員たちは最初は緊張していましたが、最後にはすっかり打ち解けていました。

●研修の様子は、村公式ホームページでもご覧いただけます。
飛島村ウェブサイト⇒村政情報⇒取り組み⇒国際交流⇒海外派遣事業⇒研修日誌
アドレス　http://tobishimahaken2016.wixsite.com/home